

日亜グループ責任ある鉱物調達方針

日亜グループは、「日亜グループ方針」や「日亜グループ調達方針」に基づき、武装集団の資金源となり紛争を助長している、あるいは人権侵害、労働問題、環境破壊等にかかわる可能性のある紛争鉱物（錫、タンタル、タングステン、金、雲母）、リチウムイオン電池の製造に使用されるコバルト、天然黒鉛、リチウム、ニッケルおよびこれらの原材料に基づく化合物（以下、「関連鉱物」）の使用回避に努めます。

日亜グループは、「OECD 紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」（以下、「OECD ガイダンス」）および欧州バッテリー規則に準拠した下記取組みを進め、またサプライヤー全体へ本内容を共有し、サプライチェーン全体で責任ある鉱物調達を進めて参ります。

1. 鉱物調達管理システムの構築

- ・日亜グループは、契約条項等を通じて、関連鉱物の製錬/精錬事業者様が OECD ガイダンスを遵守し、本方針に同意することを確認します。
- ・日亜グループは「調達管理委員会」を設置し、関連鉱物の調達におけるサプライチェーン上のリスクを当該委員会に報告する社内管理体制の構築を行い、その効果を定期的に評価・検証します。
- ・日亜グループは、関係者が懸念や苦情を表明し、記録することができる苦情処理メカニズムを構築します。これにより、鉱物調達に係るサプライチェーン全体における人権リスクの是正・改善に努めます。また、必要であると判断されたサプライヤーに対し、鉱物調達に関連した適切なサポート・教育を実施します。本方針は、世界中の日亜グループで働く全ての役員・従業員に適用します。また日亜グループの取引先等に対しても、腐敗行為防止への取組を求めています。

2. サプライチェーンにおけるリスクの特定および評価

日亜グループは、関連鉱物のサプライヤーに対し、以下に示す対応によりリスクの特定と評価を行います。

- ・RMI (Responsible Minerals Initiative、紛争鉱物等の問題に取り組む、世界で 500 以上の企業/団体が参加する組織) に応じた CMRT (Conflict Minerals Reporting Template) および EMRT (Extended Minerals Reporting Template) を用いた調査を実施します。
- ・CAHRAs (紛争地域および高リスク地域) に由来し、武装勢力/反政府組織の資金源とな

っている鉱物が日亜グループの製品に用いられていないことを確認します。また、紛争鉱物調達の調査内容・サプライヤーとのコミュニケーションの記録は、期限を設定の上で保管します。

3. 特定されたリスクへの対応策の実施

日亜グループは、前項で特定されたリスクの是正対策の取組みを、サプライヤーに対し要求します。長期に亘って是正対策が確認されないサプライヤーにおいては、取引の一時停止や解消などの対応を行います。

4. 独立した第三者による製錬/精錬事業者様のデュー・ディリジェンス状況の確認

日亜グループは、関連鉱物の製錬/精錬事業者様が RMAP(Responsible Minerals Assurance Process、責任ある鉱物保証プロセス)において認証されていることを確認します。RMAP において認証されていない製錬/精錬事業者様に対しては、サプライチェーンを遡って認証取得を働きかけます。

5. デュー・ディリジェンスに関する取組み参考状況の報告

日亜グループの責任ある鉱物調達に関する取組み状況を、日亜 Web サイト等を通じて社内外に報告します。

日亜グループが、鉱物調達先を変更する場合は、調達先のリスクを確認の上、事前取引先企業へ同意を得たもとで行う等、取引先企業様における責任ある鉱物調達に協力をいたします。

また、紛争鉱物調達に携わる社内関係者に対し、定期的に訓練・教育を実施します。

尚、当方針は定期的に見直しの要否を検討し、必要に応じて見直しを図ってまいります。

2026 年 2 月 25 日 日亜化学工業株式会社 代表取締役社長 小川 裕義